

第 27 回前橋市産業振興ビジョン協議会 議事録

産業振興ビジョン協議会	令和 7 年 2 月 27 日 (木) 10:00～11:00	前橋市役所市議会庁舎 3 階 301 会議室
出席者	<p>【委員】 大久保会長、稲田副会長、足立委員、加部委員、善野委員、大橋委員、鮎澤委員、狩野委員、堤委員、茂木委員、石川靖委員、宮崎委員、西巻委員 計 13 人</p> <p>【事務局】 高松産業経済部長、篠田産業政策課長、石原課長補佐、宮内副参事、小堀副主幹、樋口主任、手島副主幹</p>	
欠席者	松田委員、橋本委員、井野委員、唐沢委員、島田委員、石川修司委員、増田委員 計 7 人	
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 会長挨拶 3 議題 <ol style="list-style-type: none"> (1) 産業振興ビジョン令和 7 年度改定版の策定について (2) 今後の協議会の役割について 4 閉会 	
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・次第 ・委員一覧 ・パブリックコメント結果 ・前橋市産業振興ビジョン令和 7 年度改定版（本編） ・前橋市産業振興ビジョン令和 7 年度改定版 概要編 ・進捗管理シート 	
会議内容	<p>【篠田課長】 おはようございます。定刻前ではありますが、皆さんお揃いになりましたので、只今から第 27 回前橋市産業振興ビジョン協議会を開催させていただきたいと思っております。皆様方におかれましては、ご多忙の中、ご出席いただきまして大変ありがとうございます。本日の司会進行を務めさせていただきます産業政策課長の篠田でございます。どうぞよろしくお願いいたします。それでは、はじめに開会にあたりまして、大久保会長よりご挨拶をいただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。</p> <p>【大久保会長】 皆さん、おはようございます。この産業振興ビジョンについては、これまで 3 回にわたりまして策定に向けた協議会を開催してまいりました。12 月 25 日の前回は最終案を見てから皆さんの意見を伺いまして、それを基に今年に入って 1 月から 2 月までパブリックコメントを実施されたということでございます。そのパブリックコメントも意見があったということで対応いただいたようです。</p> <p>委員の皆さんにはこれまで熱心なご議論いただき、大変ありがとうございました。また、事務局の皆さんも意見を踏まえて修正を重ねていただきまして最終版ができたということでお疲れ様でございます。</p>	

本日はその最終版のビジョンにつきまして、改めてアウトライン等のご説明をいただきたいということでございます。また、今後の協議会の役割ということも議題になっておりますので、本日も皆さんから色々と意見を伺えますとありがたいと思っております。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

【篠田課長】

ありがとうございました。続きまして事務局を代表いたしまして、産業経済部長の高松より、ご挨拶申し上げます。

【高松部長】

皆さん、改めましておはようございます。産業経済部長の高松です。本協議会の委員の皆様におかれましては、年度末のお忙しい中、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。本協議会も、今年度はこの1回を残すのみとなりまして、いよいよ産業振興ビジョン完成と申しますか、最終版の報告をさせていただくということになりました。委員の皆様におかれましては、これまで最終版完成に至るまで多大なるご尽力を賜りまして、誠にありがとうございます。改めて御礼申し上げます。新しい産業振興ビジョン、ここに最終版というものができあがったということになりますが、最終版を作ることが目的ではないと認識しております。目まぐるしく変化していくこの社会情勢の中、市内経済が発展して続けられるよう本市といたしましても、このビジョンに基づいて基本目標、目指す姿、4つの戦略。こういったことを念頭に置きながらそれぞれの各施策をしっかりと取り組んでまいりたいと思っておりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。また、本日もどうぞよろしくお願いいたします。以上です。

【篠田課長】

ありがとうございました。それでは続きまして次第の3議題に入らせていただきたいと思います。議題につきましては大久保会長を議長として進行をよろしくお願いいたします。

【大久保会長】

それでは次第の3議題の1、産業振興ビジョン令和7年度の策定につきまして、事務局より説明をお願いいたします。

【手島副主幹】

皆様おはようございます。事務局の産業政策課の手島でございます。どうぞよろしく申し上げます。説明の前に、本日お配りをさせていただいた資料の確認をさせていただきます。

まず、次第がございまして、その次に委員一覧を配付させていただいております。その次に大久保会長からも先程お話がありましたパブリックコメントを実施した結果をお配りさせていただいております。こちらは、後ほど説明の中で触れたいと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。次に、産業振興ビジョンの概要版というA3サイズの用紙を半分に折ったカラー刷りの資料になります。また、94ページの冊子になっている前橋市産業振興ビジョン令和7年度改定版の本編をお配りさせていただいております。最後に今後の協議会の役割としまして、各事業の進捗管理を行っていくための前橋市産業振興ビジョン令和7年度改定版各施策の進捗状況というシートを配りさせていただいております。これは本日使うものではなくて、来年度どういう事業を進捗管理していくかというところを説明するための書式です。後ほどの議題の中で説明をさせていただきたいと思っております。資料は以上になりますが、不足等なければ説明に移らせていただきます。

では、説明に移らせていただきます。本日の説明はこの94ページの産業振興ビジョンの本編を使用いたしますが、全体を詳しく説明すると時間が足りませんので、前回の第3回協議会からの変更点等を踏まえまして、大枠でアウトラインを説明させていただきたいと思います。

本編を開いていただきまして、まず1ページ目の目次をご覧くださいと思います。前回の協議会で大きく話題が上がったところで、このビジョンの趣旨、一番大切なところが後半のページにあって、そこまで読み解くのが困難であるという意見をいただきましたので、事務局でも改めて編成を確認させていただきました。その結果、1章・2章とこのビジョンの内容を2つに分けさせていただきました。第1章が、目次の1ページ目の「産業振興ビジョン策定に向けて」、例えばビジョンの経緯や市内の課題、コンセプト、戦略の各具体的な書き込み等が書かれており、この令和7年度改定版の一番大切な部分は、この前半の第1章にまとめさせていただきました。また、目次の2ページ目は第2章となっております。本ビジョン策定に係るデータ資料編という位置付けとなっております。前回の協議会まで前半のページにありましたが、各種データや市内事業者アンケート調査の結果等を後半の第2章にまとめさせていただきました。この点は、前回の協議会から大きく変わっている点として紹介させていただきたいと思います。

続きまして、4・5ページになります。こちらは、これまでのビジョンの経緯や位置付けなどを説明させていただいているページです。これまでの復習となりますが、このビジョンは、中小企業振興基本条例と第七次総合計画と大きく関連しておりまして産業振興の最上位かつ具体的な方針として位置付けられております。計画期間は、これまでの協議会で議論があったとおり、社会情勢の劇的な変化に合わせて、これまでの5年間で3年間に変更しました。

また、ビジョンの位置付けや計画期間を変更している中で、今回の改定で一番大きな変更点として人材の確保・育成に関する事項が大きく取り上げられましたので、この動きを踏まえて前回ビジョンの附属計画として制定していたまえばし女性活躍推進計画や労働教育委員会などの組織、その活動などを本ビジョンの戦略2に内包しながら、より具体的な取り組みを進めてまいりたいと思っております。

続きまして、15ページになります。こちらは産業振興ビジョン改定にかかるコンセプトと方向性についてまとめております。前回の協議会で、基本的な考え方の人材確保の部分でご意見をいただきましたので対応いたしました。また、基本目標については、これまでの議論の中でも委員の皆様から色々と案を出していただきましてありがとうございました。基本目標を改めまして、「新しい価値がめぶく クリエイティブ都市」として設定しております。

16ページに移りまして、基本目標の下に3つの目指す姿があり、こちらも前回協議会で議論しましたが、「連携」という言葉が何を指しているのか曖昧だった部分を具体的に記載させていただきました。また、「変わり続ける未来への『適応と挑戦』」という部分について、こちらは前回の協議会で「不確かな未来」という表現だったところですが、少しネガティブな印象を与えてしまうという意見がありましたので、「変わり続ける未来」という表現に変えさせていただきました。どのような未来になろうとも挑戦を続けていくという意気込みを表現させていただきました。

18ページに移りまして、こちらの戦略に基づく施策の考え方の図表です。前回の協議会の資料では字が小さく、不鮮明な部分が多く見づらくて申し訳ございませんでした。できる限り対応させていただいたとともに、前回はかなり後半のページに掲載されておりましたが、各戦略と各施策をどう考えていくか、どう位置付けていくかというところの考え方を表現している大切な内容ですので、前半のページに移動いたしました。

続きまして、20ページ以降の各施策の取り組みの内容が書かれているところで、4つの戦略における各施策の方針の中で変更した部分を主に説明いたします。21ページの戦略1の

施策の方針1-④をご覧ください。1月20日から2月14日までパブリックコメントを実施しまして1件意見をいただきました。その内容は、配付資料が詳細になりますが、事業継続体制の強化という面で新たに設備投資についても加えては如何かという意見をいただきました。実際にはもう少し具体的な表現で意見をいただいたところですが、より広い意味合いで表現をしたいというところから、「あらかじめ災害に対応した設備投資」という表現で記載を加えさせていただきます。事業継続力強化計画やBCP（事業継続計画）という計画策定以外にも、防災・減災に関する設備投資等あらかじめの取り組みを進めていくというような内容に変更させていただきます。

続けて23ページをご覧ください。戦略1の指標の部分でございます。指標1の「経営計画実行補助金・DX推進補助金利用事業者フォローアップでの効果測定」という部分で、目標数値の部分にNPS評価方式30スコア以上を目指すという表現がありますが、こちらは前回の協議会でご意見をいただきましたネットプロモータースコアを活用しての評価方式を今後取り入れていくというところを追加しました。評価が内輪の話だけにならないように、しっかりと客観的な評価していくために追加させていただきました。

続きまして24ページ、戦略2ですが、こちらが今回のビジョンの改定で、一番大きく変わった内容になります。先ほども申しましたが、人材確保・育成に関する取り組みを大きな柱として加えたというところになります。また、前回改定ビジョンにもありましたまえばし女性活躍推進計画も本戦略に統合されて位置付けられております。施策の方針においても、前回の協議会でご意見をいただいたところで、例えば様々な属性を持った方々への配慮や、ワークライフバランスに関する事で加筆した部分がございます。

また、26ページの戦略2の指標になりますが、①の各種支援による就業決定者数について、前回協議会では目標数値を500人と書かせていただきましたが、こちらを520人に変更しました。

27ページの戦略3になりますが、こちらもパブリックコメントで意見をいただいたところでございます。具体的には施策の方針3-①の記載内容で、ガスや電気等インフラの具体的な種別まで指定された提案をいただきました。この提案に関しては、提案内容や他の可能性も含めたもう少し大きな枠組みで捉えていただきたいということで、当初の表記のままとさせていただきます。

続きまして、28ページの施策の方針3-③です。前回協議会で、IT企業誘致等に空きビル活用のお話をいただいておりますので、記載内容に反映させていただきました。そういった活動の可能性も視野に入れて文章に入れさせていただきます。

また、戦略3の指標の②企業誘致に係る投資額についてパブリックコメントで意見をいただきました。こちら具体的に書いていただいておりますが、広い意味合いで捉えていただきたいということで特に記載内容を変更せずに、記載の表現のままのとさせていただきます。パブリックコメントは、合計で3項目の意見をいただきましたので、本市の対応を含めてご紹介させていただきます。

続きまして、29ページの起業家の創出と育成について、前回の協議会での意見を基に施策の方針4-②の内容に「トライアル起業拠点との連携」等の項目を加えさせていただきます。

最後に31ページになります。戦略4の指標③「創業サポート総合制度の事業継続率」について、目標数値を98%に変更して、高い水準を目指すようにいたしました。

以上が第1章で前回の協議会から大きく変えさせていただいた内容になります。第2章は策定に係るデータ資料編になりますので、内容をほとんど変更しておりません。説明は割愛させていただきます。後程ご確認くださいと思います。

以上で、最終版ということで内容をご紹介させていただきます。どうぞよろしくお願いし

ます。

【大久保会長】

ありがとうございました。ただ今、最終版の内容についてご説明をいただきました。前回からの変更点とパブリックコメント、その対応についてのご紹介をいただきました。基本については、これで完成というところであります。今日は委員の皆さんにお集まりをいただいておりますので、これまで本ビジョン策定の中で取り組んでいただきたいような施策というお話もいただいております。先程、高松部長からは、最終版を作ることが目的ではなくて、各施策をどうやってビジョンを以て進めていくかというお話をいただきましたが、このビジョン策定は1年、2年の中で色々世界情勢も含めて社会情勢が急激に変化しています。我々群馬県の企業、事業者の皆さんも、すでに人材不足のような課題が日々出てくるという話でございますので、改めましてこのビジョンの中に期待している部分等がありましたら、お話をいただきたいというふうに思います。また、これまでの議論の中において委員からの意見もありましたが、やはり、これは市民の皆さんにも理解していただかないとなかなかいけないと思っています。市民の皆さん、事業者の皆さんの理解をいただいて、このビジョンを活用いただくということと、市の意向を理解いただいて進んでいただくというところもございまして、今後の市民の皆さんに関する周知等につきましても、良い方法がありましたらお聞きしたいと思います。それではご質問いただける方がいらっしゃいましたらお願いいたします。

【西巻委員】

西巻です。まずは私が前回指摘した内容で、皆さんに周知・理解してもらうために、ビジョンの内容で一番大事なことを前に持ってきてくださいと言ったことをこんなにすぐに反映していただいたことに対してお礼を申し上げたいと思います。また、計画期間について3年という短期的に見直していただくというのが、本当にありがたいと思えました。企業というのは3年・7年・13年という、人間の行事で申しますと3回忌・7回忌・13回忌といったような、やはりそういった大きな節目があるということを私はとても感じております。この3年という節目の時にビジョンの進捗管理を含めてよく確認してみたいと思っております。ありがとうございます。

【宮崎委員】

宮崎です。前は参加できず申し訳ありませんでした。私のいる防災業界について、対象が工場やあらゆる産業のお客様に出入りをさせていただいております。これまでは1年という単位で物事があまり大きく動くことはありませんでしたが、コロナを経験した後に1～2月という単位で計画の変更や停止等あらゆる変化がスピードアップしたということを感じました。ですので、このビジョンも3年ということですが、途中で見直す、変化を付けていくということが今後大切であると思います。

同時に、群馬県、そして、前橋の立地の素晴らしさというのは、私も含めて前橋に住んでいる人間からすると非常によく感じるころだと思っておりますが、企業に来ていただいて、人口が増えて、産業が活性化されることで、前橋がさらに良くなってくると思っております。私が期待しているのは企業立地の促進というところで話をさせていただきましたが、どうも群馬県内で企業の話題が出るころというのは、私の感想としては、高崎や太田、伊勢崎に少し取られているという気がしています。ぜひこちらの企業立地の促進というところを積極的に取り組み、話題として取り上げられるとなおよいと期待しております。

【石川靖委員】

素晴らしいビジョンができあがりました。皆さんありがとうございました。問題はこれをどうやって実行に移していくかということと、それからおそらく今の時代が一番大きな激動の時代ではないかということをも私も痛感しております。この3年間にどのように社会が変わっていった、大きな動きがあるのかということは全く予想できませんが、その時にこのビジョンをどう活用しながら、どう活動を生み出していくか、そういったことを考えていかなければならない気がします。いずれにしても、私も3年間、本ビジョンを軸にしながら色々と活動をしていきたいと思っておりますし、後はこれをどう告知していくか、皆さんに知っていただくかということも重要なことになってくると思います。以上です。

【茂木議員】

群馬県中小企業診断士協会の茂木です。私は前橋市の創業支援に携わっておりまして、創業前から成長ステージに合わせた支援というのを現場で見させていただいています。創業制度を活用して創業者が、次は経営計画実行補助金や設備投資の補助金、それから買い物利便性向上支援補助金や既存店支援補助金を活用して事業を成長させているのを見ています。今回も成果の目標値を見ましたが、毎回成果が上がっておりまして、3年後のビジョンの目標値はさらに大変なことになってしまうと逆に期待しています。以上です。

【堤委員】

商工会議所女性会の堤です。まず基本目標の「新しい価値がめぶく クリエイティブ都市」という言葉が心に響いている文言となって、これがすごく良いと思っております。前橋に合った言葉と思っております。また、これまで様々な業種に合わせたサポート体制を数多く取り組んでいただいている、本当に皆様のご努力というのを感じております。本当に良い産業振興ビジョンができたと思っております。ありがとうございます。

【狩野委員】

富士見商工会の狩野と申します。商工会という組織は小規模事業者支援を中心に成り立っておりますが、今、その小規模事業者が直面している様々な問題について、ものすごいスピードで動いているということを感じています。ですので、行政と連携あるいは調整を図りながら次のステージの小規模事業者支援ということも、今後考えていかなきゃいけないと思っておりますので、一つよろしく願いいたします。

【鮎澤委員】

関東精機の鮎澤でございますが、群馬県ものづくり技術研究会の立場ということで参画させていただきました。まずもって産業経済部の皆様、それから国会中心者の教育会メインの皆様、本当にありがとうございました。私も参加させていただいているいろんなお話を伺うことができ、自身の知見も議論の中で深めることができたと思っております。

今お話が出たとおりで、この目標「新しい価値がめぶく クリエイティブ都市」というフレーズが非常に私個人としても刺さる目標であるというふうに思っています。3年後を通すことなんて本当にできなくなっている中で、逆に3年前に、例えばトランプ氏が大統領選で再選するとか、日産とホンダは合併するかもというようなことを言っていたら突拍子もないことと思われるレベルですが、それが現実起きております。2027年はどうなっているかということは全くもって分かりませんが、前橋として目指したい姿が3つあり、主にそれは適応と挑戦であるなど、あるべき産業の姿に合わせていくということに重点を置いているということで、

本当に変化するものだけが生き残るというお話ではありませんが、そういったビジョンができて非常に良かったなと感じています。

前橋市の予算が1,500億円クラスと伺っておりますが、これからこの予算をどう分配するというのではなく、「クリエイティブ都市」という言葉に込められている、本当に新しい価値をどんどん創って、それは工業だけではなく、狩野委員からもお話がありましたが、小規模事業者のパワーもそこに活かしながらトータルでの価値を増やしていくことをやるべきことだと思います。そこに重点を置いた産業振興ビジョンが完成できたということは非常に良かったと思いますし、私も参画できて非常に幸せだったなというふうに考えております。ありがとうございました。以上です。

【大橋委員】

前橋中心商店街共同組合の大橋と申します。まずは本当に立派なビジョンが整いまして、本当に各分野に渡って、各事業を横断する大変な作業だと思いますが、また委員の意見等を適切に反映していただきまして、事務局に敬意を表したいと思います。また、説明をいただいたビジョンの章の構成ですが、こういう形にさせていただいてよかったなと思います。私も意見書で書かせていただきましたが、何のためのビジョンなのかということに分かっていただくにあたって、これを見るのは一般の市民ですので、そこに効くような構成をすべきではないかということを申し上げました。それが、修正を経て非常に分かりやすくなって、第2章として資料とデータを持ってきたというのは非常に良かったと思っています。

今後はこれを対外的にどう広報していくか、皆さんのおっしゃっていることが一番重要なことだなと思っています。県内・市内はもとより、対外的に県外、特に首都圏の企業にどう広めていくかということが一番大事で、それを行うために群馬県との連携というのも常に意識してやっていったほうが良いと思っています。また、ぜひ毎年、前橋商工会議所とも連携をお願いして、このビジョンを共有しながら、こういう施策を活用したらいいのではというアドバイスを言い合えるような連携が必要だと思っています。

さらに、最近市内やまちなかの開業関係が進んできまして、4～5月頃から新しくまちなかでクラフトジンの蒸留所ができるような動きもあります。これも今まで考えられなかった流れで、このような新しい分野のチャレンジが次々と始まっています。そういう意味で、私も中心商店街の中にいる身として色々な開業相談を受ける機会も多くございますので、ビジョンを紹介しながら、ぜひこういった制度を活用したほうがよい等、具体的にアドバイスしていただくというふうに思っています。ありがとうございました。

【善野委員】

大学人として参加しているのは私だけということで、今回、この戦略1から4までの中で、戦略2の人材確保、まさに私どもの大学関係者がどういう形で、市の産業に関わっていただけるのか、そういうことをきちんと考えなきゃいけない時期に来たと思っています。12年前の前市長のときに、眠っている大学を起こすということで、5年間積極的に取り組んできた結果、かなり前橋工科大学も変わった部分があります。今回、人材の部分が一番大事な部分で、産業が元気になれるかどうかが一番大事な部分ということもあるので、前橋工科大学の教官は、意外としっかりやるし、学生もやれるという人材が揃っていますので、市と連携してうまく使っていただきたいなと思います。

私自身もこの3月で大学を去ることになり、今村学長も一緒に卒業です。前橋工科大学も新しい体制に代わるので、新しいことを始めるにはぴったりだという状況なので、ぜひ徹底的に活用いただきたいと思います。できるだけ学生がインターシップで市内企業に行けるといいうよ

うなシステムを、どう作れるかの部分が一番大きいように感じています。強引に市の施策の中に組み込まれた時は、学生がかなり参加したことによって、就職も確か少し上向いたということもあったので、企業は大変かもしれませんが、若い学生が本当に今いないので、そういう機会をいただければ企業と大学両者にとってありがたいと思えました。ありがとうございました。

【加部委員】

産業技術センターの加部と申します。私どもの職場は製造業を中心とした企業に対しての技術的な支援を中心に行っている機関でございます。ですので、戦略1の③のDX推進等、私どもが今特に力を入れていることです。特に伴走支援を中心に行っておりますので、もし、そのような企業がありましたら、積極的に私どものところにもご紹介いただきたいと思います。その際にどうしても予算がという話が出てくると思いますので、積極的に補助金の活用も一つでありますし、使わない手はないなと私も思っておりますが、申請が大変だったりする場面もありますので、申請支援というのも私どもが国や県、市問わず行いますので、その辺もご承知いただけるといいかなと思っております。全力的に前田市の企業さんも支援していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。

【足立委員】

銀行協会の足立です。大変素晴らしいビジョンができたなという感想を持っています。我々委員が意見を言って、それがどんなふうにもとめられるのかなと思いつつ、少し伺ったところにはありましたが、本当にしっかりとまとめてきたなというところ。かつ、まとめただけではなくて、中身がしっかりとポイントを指しています。それから、見方もよっても流れができて全部に目を通したわけではありませんが、スルスッと見ることができている。そういったものになっていると思っておりますので、大変皆さんお疲れ様でした。

これからのところで、PDCAサイクルのP (Plan) が終わって、D (Do) にこれから入ってくるわけですが、ポイントは今回の計画期間が3年ということで非常に短い、あっという間に終わってしまう3年だと思います。ということで、その進捗を如何に見ていくか、進捗状況の話もありましたが、進捗を確認するに伴って行政として色々な数値を取っていくことになる中で、よく私も指摘しますが、その数値が非常に古い数値を使いがちであるということに気を付けなければなりません。使っている数値が更新される周期等がそういうものだというところで仕方がないこともあるのですが、だからといって古い数値を使っていくと、今回の計画期間が3年ですので、この新ビジョンが始まる前の数値が出てきてしまうということも考えられます。また、後2年もすると、さらに次のビジョンの策定に取り掛かると思います。その時にこの3年間のビジョンで、一体どうなっているという数値が何にもないということだっただ下手をするとあると思えます。その点を踏まえて慎重な管理をしていくということと、今のこの3年間の中でも非常に大きな変化があると予想しています。自動車の関税が25%というような情報もあるくらいですから、自動車産業はもっと厳しい状態になるとか、色々な状況が起こりうる中で、ビジョンの見直し、事業の進め方や手法を変えていかないといけないことが出てくると思えます。

これからの本当の仕事なのかなと思っておりますので、そういった面でこのビジョンの施策をしっかりと進めていただきたいと思います。私も勉強させていただきまして、大変ありがとうございました。

【稲田副会長】

前橋商工会議所の稲田です。先ほど高松部長からお話がありましたように、まずこの素晴ら

しいビジョンができましたので、このビジョンに基づいて今後何をやるのか、というのは大切なものだと思います。大変劇的な変化がある経済情勢の中で、先が見通せないような状況が続いております。人手不足もそうですし、それに伴う大幅な賃上げ、また、金利のある世の中が戻ってまいりました。この流れを踏まえて、今後どのような施策が展開できるのかということを中心に考えていくことが必要だと考えています。また、ビジョンに記載されております各施策の方針に基づいた主な取り組みについて、取り組む姿勢はもちろんですが、進捗状況を検証する中で、効果というものをよく確認していただくことが大切だと思います。前橋商工会議所もこういった事業をやっていただきたいという要望を毎年出しております、その要望を取り入れていただくということはもちろんですが、行政もどういった施策が効果的なのかということ日々研究して、場合によってはこの取り組みの中身を入れ替える、追加するというようなことも必要であると思いますので、今後もよろしくお願ひしたいと思ひます。

【大久保会長】

ありがとうございます。委員の皆さんから感想等をいただきました。皆さんのお話をお聞きすると、如何にこのビジョンの改定についてそれぞれの想いをしっかり持って取り組んでいただいたかというのがよく分かりました。ぜひともこのビジョンの、今度は実行（D o）ということで、本編はかなりのボリュームがありまして、その中で気になることがまだまだあると思ひますし、時代の変化においてこの大きな方針も、常に変化に対応しながら取り組む必要があるというふうにお願ひしておりますので、今後ともよろしくお願ひします。

先程、施策をどうやって広めているかという話を皆さんにいただいて、大橋委員からは市内はもとより県内あるいは県外に、という話がありました。私どもの産業支援機構では創業支援のサポートをさせていただいております。群馬県は創業者数が多い、比較的多い市場ということがデータで出ているそうです。我々のコーディネーターは、創業相談を受ける人に色々とアドバイスをしておりますが、「創業をどこでやられますか」「前橋でやります」「良いですね。前橋市は支援メニューが一番充実していますよ」というお話をさせていただきながら、前橋市の支援メニューの活用を進めております。そのような情報を積極的に外に出していくことが重要であると思ひまして、これを市内だけではなくて、県内あるいは県外からそういう創業者を呼び込むためにも必要であるのかなと思ひています。

先週、東京のいくつかのインキュベーション施設を視察してまいりました。その中で、虎ノ門ヒルズにC I C東京というインキュベーション施設がありまして、ここは昨年度に群馬県が会員になっております。150～160社の会員がいるC I C東京では、施設の主催イベントや会員が持ち寄るイベントを毎週やっております、他県の市町村が会員になっているところもございました。その会員となっている市町村は情報発信やスタートアップ企業とのマッチングで活用しているようですので、前橋市もこういった機会や施設を活用しながら、施策に周知を行いつつ、外から事業者を呼び込むというところに取り組むことも必要であると思ひますし、そういった会員と市内の事業者とマッチングの機会が増えて共創事業が進んでいくと良いと思ひますので、そういった情報を一つ参考にしていただきたいと思いますと思ひしております。

それでは、続きまして議題の「今後の協議会の役割について」ご説明をお願ひします。

【手島副主幹】

では、説明に移らせていただきます。議題の2つめは、今後の協議会の役割についてのお話をさせていただきたいと思ひます。まず協議会委員の皆様の任期についてお話をさせていただきたいと思ひます。令和5年度末の最初の委嘱から、令和6年度に交代された方もいらっしゃいますが、皆様の任期は令和8年3月31日までとなっておりますので、引き続き令和7年度

も委員としてご活躍いただきたいと思っております。

続いて令和7年度の協議会の活動内容についてです。先ほど多くの委員の方々からお話をいただきましたが、このビジョンを今後どう活用していくのかという点において、令和7年度は、やはりPDCAサイクルを回して、具体的な事業の評価、そしてその分析を今後はどうつなげていくかというところをやっていかなければならないと思っております。そこで、配付いたしました各施策の進捗状況シートを活用させていただいて、各事業の進捗状況などを都度確認して、ビジョンの進捗管理を委員の皆様と一緒に行ってまいりたいと考えております。シートの中身をご覧くださいと、各戦略の目標数値に対して直近の状況や施策の方針の評価を確認するページや、施策の方針の中にあるそれぞれの個別事業に対して進捗状況を記載するページがございます。ここで大事なことは、例えば補助金をいくら出したから、何件出したからというだけの評価ではなく、事業が市内経済にどのような影響を与えたか、今後の流れにどうつながっていくかというところを、なるべく詳しく記載するような内容になっているという点です。これらの内容について、委員の皆様にも確認・評価をしていただきたいと思っております。

令和7年度の予定としましては、年度末頃に1回、協議会を開催させていただきまして、前回改定ビジョンの評価と、令和7年度改定版の各施策の進捗状況の確認などをさせていただきたいと思っております。必要に応じて年内にもう1回開催をすることもありますが、まずは1回ということ念頭において、予定してまいりたいと思います。

次に、本ビジョン協議会への労働教育委員会の合流についてご説明いたします。委員の皆様の役割が増えて仕事が増えるという話ではございませんが、労働教育委員会という人材確保や労働関係のための組織が別にございまして、本ビジョンが人材確保・育成の面で戦略2として体系的かつ具体的に位置付けられたことに伴って、労働教育委員会の属性を引き継いで、この協議会の中に統合していくという形を取りたいと思っております。協議会について特別な変化があるという話ではなく、労働教育委員会が持っていた役割や属性は、元々本協議会でも全て備えていたところもありますので、役割の統合ということでご承知おきいただきたいと思っております。以上の説明になります。

【大久保会長】

ありがとうございます。ただいま事務局からご説明いただきましたが、委員からの質問ありますか。

それでは無いようですので、以上で本日の日程が全て終了いたしました。ご協力いただきありがとうございました。

【篠田課長】

会長におかれましては議事進行をありがとうございました。また、各委員の皆様におかれましても本年度全4回の協議会を開催させていただきましたが、ご協力いただきまして大変ありがとうございます。

各委員からお話がありましたが、特にこのビジョンができたことの市民への周知、あるいは実際の施策の取り組み等について、それぞれの団体の立場から引き続き連携させていただき、ご意見・ご助言をいただければ大変ありがたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、以上をもちまして第27回前橋産業振興ビジョン協議会を終了させていただきます。ありがとうございました。

(協議会終了)